平成30年10月26日発行　第183号

こうふ町 議会だより

町のにぎわい!! 「えんちゃん」オープン!!

決算認定 ……2P～10P
新庁舎基本設計を決定 ……11P
一般質問 ……12P～17P
行政調査 ……18P～21P

議会のことをわかりやすくお伝えします

新庁舎基本設計を決定

平成30年度９月定例会は６日招集され、会期を21日までの16日間として開かれた。

今回の定例会は平成29年度一般会計と15の特別会計の決算・平成30年度補正予算など提出議案35件を審議し、すべて原案通り可決した。

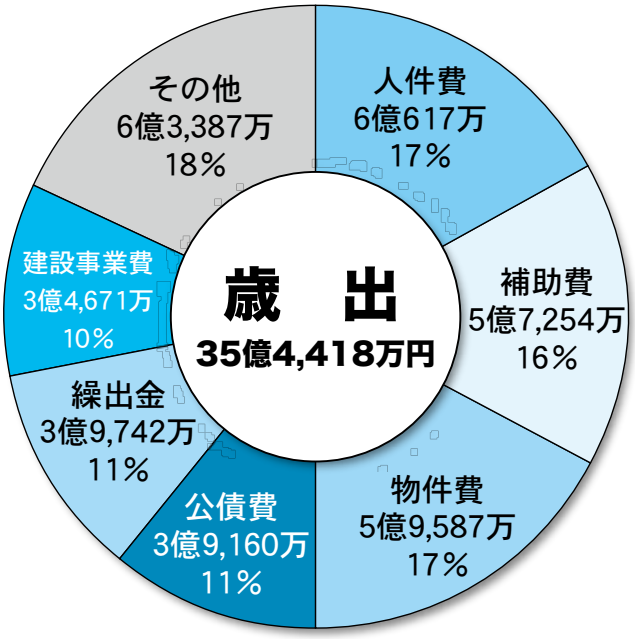
又、庁舎建設について特別委員会を開き基本設計を決定した。（11ページ参照）

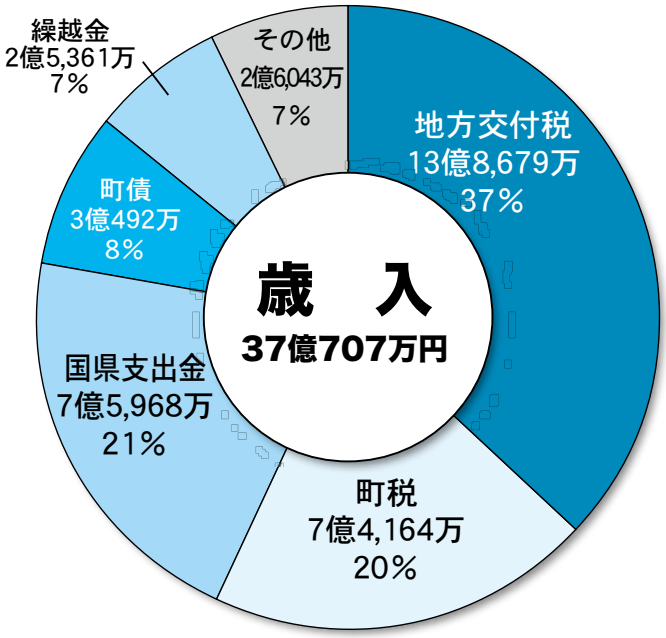
財政状況は

町の貯金である基金は、昨年より5,797万円増加し12億9,843万円で、借金である町債は1,480万円減の50億32万円となっている。実質公債費比率10.7％、将来負担比率69.6％、経常収支比率88.7％といずれも少しずつ悪くなっている。

庁舎建設に向けて財政運営に十分注意が必要である。

一般会計





9月定例会

平成29年度 決算歳出総額 53億8,708万円を認定

一般会計 35億4,418万円　特別会計 18億4,290万円

昨年度の主な事業

事業名	事業の内容	費用
地域おこし協力隊事業	農業公社２名、道の駅１名、観光協会１名 笠良原市民農園２名、宮市法人１名	2,723万円
空き家活用事業	空家修繕工事、移住者の空き家改修・家財処分に対する補助	500万円
町営バス購入費	10年経過した59人乗りをマイクロバス29人乗りにするもの。	981万円
買い物福祉サービス支援事業	ひまわり号による買い物サービスと高齢者の見回りを実施（延べ4,436名の見回り）。	917万円
そば生産拡大事業	農業公社にそば用コンバインを導入。	675万円
プレミアム商品券事業	地元で買物をし町内でお金が循環することを目指し2,400万円買物が出来るプレミアム商品券を発行。	458万円
大山開山1300年祭事業	御机の茅葺屋根の葺き替え。	453万円
旧明倫小学校用地購入	土地所有者の理解を得て、借地料の軽減を図るもの。	679万円
保育園エアコン改修工事	遊戯室にエアコン2台設置した。	362万円
下安井－舟場線道路事業	町道下安井～舟場線の新設のため測量設計を行った。	1,383万円
し尿処理場建設負担金	日野・江府・日南により平成29年12月総工費16億4千万円の清化園が完成した。	9,924万円
地籍調査事業	川筋地区、杉谷の地籍調査事業	7,355万円

特別会計（15会計）の状況

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
住宅新築資金貸付事業	182万円	61万円	121万円	0
国民健康保険（事業勘定）	4億2,351万円	4億1,422万円	929万円	1,453万円
国民健康保険（施設勘定）	2億1,587万円	2億1,522万円	65万円	3,787万円
介護保険事業（保険事業勘定）	6億2,343万円	5億7,522万円	4,821万円	8,107万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	185万円	171万円	14万円	0
介護老人保健施設	5,505万円	5,505万円	0万円	1,686万円
後期高齢者医療	4,893万円	4,811万円	82万円	1,885万円
索道事業	6,678万円	6,325万円	353万円	0
簡易水道事業	2億3,122万円	2億3,066万円	56万円	5,400万円
農業集落排水事業	1億5,054万円	1億3,637万円	1,417万円	7,580万円
林業集落排水事業	675万円	507万円	168万円	482万円
特定環境保全公共下水事業	1億1,505万円	9,264万円	2,241万円	3,766万円
江尾財産区	240万円	6万円	234万円	0
神奈川財産区	293万円	95万円	198万円	0
米沢財産区	383万円	376万円	7万円	0
合計	19億4,996万円	18億4,290万円	1億706万円	3億4,146万円

平成30年度 主な補正予算

7月 豪雨災害復旧工事費

町道・土砂崩れ等
3，620万円

町営バス購入

金額　991万円
落札先　JA江府支所
マイクロバス29人乗り（4WD）

＊古くなった59人乗りのバスを、計画的に購入するもので、状況に合わせ小型化した。納入は12月ごろの予定。

監査委員の審査意見書

岡田雄成代表監査委員

①平成29年度の一般会計決算状況をみると、歳入総額37億7,007万円、歳出総額35億4,418万円で歳入歳出差引額1億6,289万円となっている。

まず、歳出の面をみると、積立金、建設事業費、人件費等が増加したが、補助費、物件費、扶助費等が減少し、前年度に比べ5,882万円、率にして、1.7%増加している。

これに対する、歳入の面をみると、県支出金、繰越金、寄付金、分担金及び負担金等が増加したが、町債、地方交付税、国庫支出金、町税等が減少し、歳入合計は、前年度に比べ、△3,190万円、率にして0.9%減少している。

江府町の頼みの綱である、平成29年度地方交付税は、総額13億8,678万円と前年度に比べ、△8,162万円になっている。また、基準財政収入額の町税も7億4,164万円で、前年度に比べ、△1,288万円となっており、地方交付税の伸びが心配である。今後、国の動向を注視したい。

②財政状況を、示す指標をみると、経常収支比率は、前年度に比べて4.5ポイント増の、88.7%になっている。実質公債費比率が10.7%と前年度より0.7ポイント増加している。

将来財政の圧迫を示す将来負担比率が69.6%と、前年度より4.5ポイント上昇している。

また、地方交付税の算定の基礎になっている、基準財政需要額が17億6,731万円で、前年度に比べ、△2,006万円になっている。

全般的に少しずつではあるが、財政状況を示す指標に悪化の兆しが見えている。特に経常収支比率が、88.7%は、注意を要する。

③将来の町財政に好影響を及ぼす、旧明倫小学校用地購入では、地権者の方のご理解をいただき、宅地他3,222㎡を679万円で購入することができた。

④自然災害の脅威には、近年、驚かざるを得ない。江府町は、たまたま被害が、少なかったものの、条件がそろえば、この江府町も被害が甚大である。職員ひとりひとりが、そのことを肝に銘じて、対処されたい。

とりわけ新庁舎建設も、昨今の水害被害を視野に入れた対策を望みます。町民の健やかな生活の安心・安全の確保を目指して、努力されることを切望します。

留意事項

①小・中学校の通学路を点検し安全を確保されたい。

保育園裏山の地すべり等の危険はないか、今一度見直されたい。

また、江府町で起こりうる災害は、各集落によってまちまちと考えます。

集落ごとの災害対策や避難所などを、今一度見直されたい。

②町税、国民健康保険税、上下水料等の未収金の、徴収窓口が別々である、連携や一本化に向け検討されたい。

③保育園の遊戯室空調等改修工事は、決算額362万円で、結果的に、異常な暑さの前に施工ができた。

陳情の審査結果

件　　名	提出者	審議結果
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考える会 理事　井田　敏美	採　択
沖縄県による「辺野古沿岸埋立承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとっとりの会 共同代表　石田　正義　　一盛　　真 伊藤　英司	趣旨採択
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	平和行進日野郡実行委員会 代表　福岡　正純	趣旨採択

一般会計

Q 日野高校への負担金の内容は。

A コーディネーターを採用し日野高校の魅力向上に向けいろいろな仕事をして頂いています。

Q 十七夜祭りで、来場者向けのトイレの数が足らないとの声があるが。

A 考えなければいけない時期に来ている。何らかの対応をしたいと思います。

Q この度の大雨特別警報は教訓になったと思うが対策を立てたか。

A 実践に即したマニュアルへ見直しをします。

Q 移住者に対する家屋の修繕費について、町内に住む若者にも出る補助はないか。

A 今はないですが、今後検討していきたい

多くの人でにぎわう江尾十七夜

Q タクシー利用者の不満対策は。

A 台数増や、予約電話が、米子の事業所に、転送される事等について改善を要請しています。

Q 妊婦検診費用助成は、里帰り出産でもＯＫか。

A 受けられます。

Q 総合福祉センターの２階は土足禁止であるが、理由は乳児検診などのためとのこと、診療所は土足であるが検討すべきでは。

A 今後検討したい。

総合福祉センター２階

決算の審査

Q 日野郡初のナシ新甘泉に期待するが現況と方向性は。

A 平成30年に400個収穫しました。平成32年頃には一万個収穫できる予定です。今後は栽培者を募集育成したいと考えています。

Q 猟銃の所持者を増やすための補助や努力は。

A 現在5名の方が所持している。20代は1名です。若い世代に罠の免許取得を進めています。人数増やす努力したい。

Q 商工会発行のプレミアム商品券を買えなかった人がいた、状況は。

A 今回は一週間で完売した。次回から何らかの対策をします。

Q 新設なった清化園の副産物「リン」の処理は。

A 県の農業試験場でソバの肥料として試験しています。

Q 大雨警報等における保育園の、避難準備や訓練の状況は。

A 防災センターに避難、または休園にします。今後実態に即した対応を検討中です。

Q いじめに対する学校の対策は。

A いじめの定義が変わり町の対策基本条例を改正します。30年度から毎日ソーシャルワーカーが小・中学校どちらかに出向く体制を整えました。

Q 通学支援事業とは。

A 小・中学校に通学するのに、バス利用が困難な児童・生徒に対して、シルバー人材センターを活用して、スクールカーを運行しています。エリアは久連の町営住宅、美女石、佐川住宅です。

スクールカーで安心通学

Q せせらぎ公園のトイレをもう少し良質なものにできないか。

A 地元団体からも陳情があり、引き続き検討します。

Q いもこ塾の対象学年が2年生からにならないか。

A アンケートにも出ていますので検討します。

特別会計

Q 国民健康保険料が県下統一になると思うが。

A 県では、まだ方向性が決まっていません。

Q 近年、人口減少が原因と思われるが、医業の収入が減少傾向だ。今後の見通しはどうか。

A 町内の皆さんの江尾診療所の受診率が53％です。今後は、町外からの胃カメラによる受診率を上げるなど収入を増やす取り組みをしたい。

Q 昨年は、介護事業所に一時、介護報酬が支払われなかったという不祥事があったが、その後改善はなされたか。

診療所受付

A 事務職員を1名増員し、指導や相互チェック体制を強化している。また、介護施設との協議も複数回開催し連携を深めている。

Q 俣野の水道の水源はいつ完成か。

A 今年12月完成予定です。

Q 漏水があった場合の料金は。

A 漏水に対する料金の半分を給水量から還付することになっている。

Q スキー場第一リフトの大がかりな修理が必要と思われるが、指定管理に出すにしても修理は必要ではないか。

A 大がかりな修理をするとなると新設のほうが良いのではないか検討している。リフトを新設するということなら、自然保護法の関係上半年くらいは必要だ。指定管理が決まってからになると思う。

福祉保健課執務風景（福祉センター2階）

決算特別委員会

参考意見

一般会計

江府町の平成29年度一般会計決算は35億4，418万円であり前年対比102％となっています。

また平成29年度決算おける実質公債費比率は10．7となり、平成28年度より0．7％増加しましたが、早期健全化基準とされる25％を相当下回っており、福祉や防災対策に向けた投資は十分可でありますが、庁舎建設を迎える中、住民の福祉向上実現と安全、安心の町づくりに向け確かな財政運営に努力されたい。

庁舎建設に向けて

いよいよ具体化した、新庁舎建設向けて住民の想い・願いを実現するため、財政的にもしっかりと対応し、周辺環境整備、さらには万全の防災対策も含めた施行体制を迅速に構築していただきたい。

住民の移動手段は

交通弱者対策の観点から、バス運行の効率をさらに進め、タクシーの利用と合わせ住民の利便性向上を図り、安心・安全な交通網の整備と輸送体系の確立に取り組まれたい。

各種団体の連携

民生委員・見守り支援員・シルバー人材センター・愛の輪・老人会等、色々な組織があるが、役場・社協等が一体となって業務を遂行できるように取り組みをされたい。

鳥獣対策は

鳥獣被害は、農家のやる気を奪う原因の一つとなっている。農林産業課などと連携して、農地を見守る番人として有効な対策を研究されたい。

奥大山ブランドは

奥大山ブランド化は農林産業のみならず町全体の活性化につながるものであります。各品目とも足並みそろえブランド化を急がれたい。

地籍調査は

地籍調査の進捗率は現在11％です。社会資本整備の基礎となるものです。迅速な事業促進に努められたい。

図書館の充実は

ミニリニューアルにより利用者の利便性は向上しています。さらに新書の増冊に意を用い、利用者の増加と、満足度の向上に努められたい。

リニューアルした図書館

決算特別委員会

参考意見

特別会計

滞納金の徴収は

住宅新築等貸付金滞納者からの徴収については、税の滞納金徴収に併せ徴収事務の一元化を図られたい。

江尾診療所の現状は

①診療報酬が減少傾向にあり、人口減少が原因の一つと考えられるが、胃カメラの町外者の受け入れも出来るようになり、町外からの受診者の増加を図られたい。

②今回作成された診療所のパンフレットを活用し、江尾診療所の診療内容並びに今後増える在宅医療への取り組み等、医療に対する思いを町内外に十分なＰＲを行い住民の健康増進を図られたい。

③診療所の体制強化について、早急な検討を進められたい。

④ジェネリック医薬品の利用を進めるために町内に広く告知されたい。

作成された診療所パンフレット

認知症予防は

①認知症予防事業を積極的に進めていただきたい。

②認知症サポーターを全町に広めるよう取り組みを強化されたい。

奥大山スキー場状況は

今シーズンは季節状態も良く入場者数も多く安定経営が行われているが、今後とも充分な情報発信を行い集客に努められたい。

奥大山スキー場

町の水道の状況は

①水道料金の滞納金の徴収は税との一元化を進められたい。

②老朽化施設については、計画的に改修を図られたい。

下水道の利用状況は

未接続の家庭の高齢化が増えて居ると考えるが、接続率の促進に努められたい。

新庁舎基本設計決まる

完成予定　平成32年2月

1階　1,515㎡

- **防災会議室、ロビー等**
- **教育委員会を除くすべての課**

2階701㎡(斜線部分)

- **多目的室(議場兼用)274㎡**
- **議会事務局、教育委員会**

駐車場　156台

庁舎本体建設費　7億7千万円

庁舎等特別委員会を開き、3案の中から上記A案を決定した。

今後詳細設計に入り、再度精査することとした。

旧俣野小学校が地域医療・人材の拠点に

平成30年度において、日本財団助成事業を受け旧俣野小学校を地域住民の「小さな拠点」と位置付け改修する。

- **診療所、運動療法室、シャワー室**
- **活用内容**　診療所（月,木曜日の午後）
  認知予防教室(木曜日)
  ウェルビクス(第1, 3火曜日)
  鳥大「地域医療」研修等
- **運　　営**

「江府町の地域医療を支援する会」
（会長　宮本正啓）が指定管理を受け行う。

旧　俣野小学校

小・中学校の今後の在り方について

先進地　鹿野学園

9月12日、議会全員協議会が開かれ、教育委員会より今後の小・中学校の在り方について報告を受けた。

平成28年度法改正により可能となった「義務教育学校」（小学校・中学校合わせた9年生学校）の内容と先進地の状況説明があった。再度、保護者説明会等を経て小中一貫教育推進検討委員会(仮)を設置し、詳細について議論し早ければ平成32年度から実施予定。

白石町政２年間を振り返って

三好　晋也

動画で一般質問

三好議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

『３０００人の楽しい町』づくりとは？

質問 Ｕターンを促進するための奨学金制度はいつから始めるのか。

町長答弁 現在、検討中です。実施は早くても２０２０年春からになります。

質問 地域包括支援センターの充実はあまり成果が上がっていないと思うが。

町長答弁 現体制で大分よくなっていると評価している。

質問 集落総合点検で住民から出た意見や要望早急に政策として具体化する時期が来ていると思うが。

町長答弁 初年度からむずかしい要望がたくさん出ました。優先順位をつけて対応したい。共通して出た要望は買い物の不便さや移動手段についてです。検討すべきと考えています。

質問 集落営農の推進と奥大山農業公社の体制の充実は全く進んでいないようだが。

町長答弁 集落営農は進めていきたいと思う。ただ、町が無理やりやれる話ではない。個々の集落で話し合っていただいてその中でやっていくものです。

質問 町営住宅、分譲宅地等、住宅施策は最優先で取り組むべきでは。

町長答弁 私も最優先に取り組むべきだと考えています。

質問 若者が定住しない理由として挙げられるのが、就職先の問題、通勤の問題、結婚後の住まいの確保、そもそも農業をやりたくない、Ｕターンしたいが親とは同居したくない等が挙げられる。やはり町営住宅は必要だと思うが。

町長答弁 住む場所、住宅に関しては全く同感です。必要性は重々わかっている。庁舎建設後、検討したい。

2年目を迎えた集落総合点検（新道集落）

連携のまちづくりは町民とともに

森田　哲也

動画で一般質問

森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

町民目線で職員評価を

質問 本町を取り巻く環境は、大きく変化しており、これからの職員には、新しい考え方が必要となってきた。町民と同じ目線での職員評価が必要と考える。

町長答弁 本町の人材育成方針職員評価の方針を合わせて、どんな職員が評価されているのか町民にわかるようにしていく。また、町民目線という事で、今後は、地域交流とかの評価も考えたい。

質問 これからは、総合点検など、町民との共同作業が大切と思う。協働のまちづくりの推進を図るため、町民とともに活動できる職員評価を願いたい。

町長答弁 イベント参加など町民と一緒になって町をつくっていくという気持ちを持った、職員を目指したい。町民との連携は大切に考えていきたい。

鳥獣駆除にIT化の積極導入を

質問 猟友会等の活躍で成果も出てきているが、被害状況は、なお拡大しつつある。今後は更なる取り組みの強化、将来を見据えた積極的な新しい政策が必要と考えるが伺う。

町長答弁 従来から国・県・町の補助制度により、ワイヤーメッシュなどの設置を進めている。また、猟友会の皆さんを中心に連絡協議会を設置し駆除を委託してきた。これにより毎年百頭位駆除している。

遠隔操作による最新式の箱わな(トットルmini)

質問 たしかに、駆除の成果は上がっていると思うが、電柵の設置範囲等拡大しており被害対象面積は増加しているのが現状だ。また、農家の高齢化が進むなどその生産意欲の低下が心配される。さらに全国的にも駆除者の高齢化等も問題となっている。それには、遠隔装置など駆除の省力化が必要と考えるが。

町長答弁 IT化などの推進については、これからの時代必要と考える。関係者としっかり協議していきたい。また、ジビエ料理等資源活用についても慎重に検討していきたいと考える。

7月豪雨大雨特別警報発令

対策検討が必要な夜振橋

川端 登志一

動画で一般質問

川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

新庁舎孤立化 自然災害へ備えは

質問 本年7月6日に大雨特別警報が発令されました。多くの町民が不安な時間を過ごした。町民の安全安心をどのように確保したのか。被害状況や避難状況はどうであったのか。

町長答弁 土木農林の被害が14件発生し、町内全体で62名の方が町の施設に避難しました。

質問 大雨特別警報を受けて特別な体制をとったか、また災害救助法が適用されているが、その数値は過去何番目の雨量であったか。

町長答弁 7月7日6時30分大雨特別警報が発令となりました。数十年に一度の大雨、最大級の危険を知らせるものなので、第3配備の全職員招集対応しました。降水量は最大で24時間当たり101ミリで観測史上6番目ということです。

質問 新庁舎に隣接する国道の上側は切り立った岸壁の直下で落石の危険がありバス停付近は夜振橋如何では冠水し、新庁舎が孤立する恐れがあるが対策は。

町長答弁 日野総合事務所県土整備局に護岸や山崩れ防止の対策をお願いをしています。

質問 その対策整備基準が30年に一度の降水量では不十分ではないか。防災に優れた町づくりへの町長の考えを伺う。

町長答弁 ハードには限界があるので、ソフト面で命が守れるような対応をしていきたい。例えば、今までは地震を想定して訓練をしてきたが、今後は大雨特別警報を想定した総合避難訓練も実施したいと思っています。

江尾十七夜賑わいの創出と永続性について

質問 町民や来場者にとって十七夜の楽しみは夜店、船谷川の灯篭、火文字、花火など多数ありこのことにより多くの来場者数を記録している。しかしながらここ数年特に夜店と灯篭の数が減ってきている様ですが、その認識は。

町長答弁 夜店は毎年80件から90件の登録があります。今年は昨年に比べ一部空きがあったのは確認しています。曜日によって他地区の祭り等の兼ね合いもあるようです。業者の組合に毎年数多く来ていただくようにお願いをしています。灯篭は、今年400個設置しました。流されたりして少しずつ減って来たようです。バランスを考えて設置します。

質問 町民の方から名前や願い事など書き入れて参加していただくような工夫は。

町長答弁 灯篭を含め色々アイデアがありました。実行委員会に報告します。

質問 長く続けていくための町長の考え方は。

町長答弁 今年もかなり多くの人が来られました。その中で、駐車場や女子トイレの不足、町内の万国旗の準備など本当に様々な課題を抱えながらもずっと続けています。これからも一度に大きな変革はできないが、皆様に喜んでいただける祭りにしていきたい。

奥大山農業公社の現状認識は

三輪　英男

動画で一般質問

三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

奥大山農業公社の現状認識は

質問 江府町の農業公社及び農業の活性化プランにある「農業公社」のあるべき姿を問う。

町長答弁 地域の農地は地域が守る、まさに私はこれだと思います。ただ、現状はそうかというと、ちょっと違う。何か地域の農地は農業公社が守るみたいな感じである。

一番大事なのは、下支えだと思います。ですので、いきなり集落営農に向かえないかもしれません。ただ、目指すところはそこです。そこに至るまでのお手伝いは公社がすべきで、いずれ公社はそういう集落営農をつなぐ本当の調整機能だけを持てばいいと私は思っています。

せせらぎ公園の維持管理は誰が？

質問 「せせらぎ公園」の維持管理は、現状では農業公社が作業委託という名目で管理しているが実態は、江府町グラウンドゴルフ協会が芝刈をしているが、指定管理を当協会にしていただいたらと考えますが町長の見解を伺う。

町長答弁 奥大山農業公社は農繁期以外は比較的時間に余裕がありまして、公社の財政的な面での支援という側面から管理をしています。あやめ館を含めた、町内の公共施設のあり方を検討する中で考えていく必要があると思っておりまして、その中で管理について議論を深めていきたいと考えております。

集落支援業務等のすみ分けは

質問 集落支援業務委託事業を「ＮＰＯ法人こうふのたより」に委託しております。この業務は、江府町集落総合点検事業と、一部重複しているような事業があります。すみ分けをした業務活動が必要ではないかと思います。町長の見解を伺う。

町長答弁 役場の縦割り行政の弊害を取り除く面からしても、ＮＰＯ法人にそういうところを、柔軟に対応していただいてると私は思っております。集落総合点検の場にも立ち会っていただいております。役場と集落、あるいは住民の方をつなぐ役割を期待しております。新しい、次の江府町をつくっていくためには、こういう中間的な組織も必要と考えております。目指すところは協働の町づくりにするために、各種施策を進めてまいります。

畑一面に咲いたソバの花（下安井）

地域防災体制の見直しについて

増水により災害が心配された久連橋

空場　　語

動画で一般質問

空場議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

地域防災体制の見直しについて

質問 最近は、地球温暖化に伴う異常気象による豪雨災害が多発しております。

江府町の地域防災体制は、平成25年3月以来、見直されていません。早急な練り直しをしていただきたい。

町長答弁 組織体制を含め、変わってきているので、早急に見直しをします。

避難所の見直しについて

質問 避難所に指定された公民館は危険地域に指定された場所が多く、避難をするのに不適切ではないか。

別の公共施設を指定した方が良いのではないか。

町長答弁 避難所の見直しについては、集落の皆さんが一番ご存じなので、意見を取りまとめて頂き、町に話をしていただければ、見直しを行っていきたい。

危機管理水位計の設置を

質問 最近の豪雨災害は、100年に一度の考えられない集中豪雨災害が起る可能性があります。

上流の菅沢ダム、町内に俣野川、下蚊屋のダムがあり、急激な雨の放水時には、予測できない洪水になることが予想されます。

特に、町内の日野川の両岸は、洪水の危険地域になっているので、危機管理水位計の設置を要望します。

担当課長 町内に危機管理水位計は2基あります。今県内で50基増設ということですので、早急に設置場所の検討を行い、3年以内に必要箇所に設置したいと考えています。

協働の草刈作業を

質問 高齢化で草刈りが出来なくなると、耕作放棄地の増加にも繋がる。

農業の振興のためにも、農業公社とシルバー人材が、協働できる体制を考えたらどうか。

町長答弁 農業をしていくうえで、草刈りの担い手対策などが重要であり、集落営農を進めていきたい。

新庁舎建設に伴う仕様書・財政財源は？

阿部　朝親

動画で一般質問

阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

新庁舎建設に伴う発注仕様書・財政財源処置は

質問 新庁舎建設に伴う設計は既に建設コンサルタントに発注されており、それの発注仕様書は充分に検討がなされていると考えるが、3000人の楽しい町プロジェクトチームにおいて、取りまとめられた複合施設・交流施設・カフェ・食堂・エコ発電・景観を活かした造り・ATMの設置等がありました。この度の発注仕様書にどの様に明記にされているか、また、町長の将来構想に基づく思いも反映されていると思いますので、併せて町長の所見を伺いたい。

町長答弁 若手のプロジェクトチームに呼びかけ、町民の皆さんのいろんな意見をいただいた。特に発注仕様書に具体的に記載はしていないが、設計業者と協議し意向は伝えている。また、自分なりの考えも申し上げている。

質問 新庁舎建設費は、10億円とも言われているが、国からの交付税や、町税等一般財源が減少する中で、経常収支比率が90％に近く、監査意見書では注意を要するとまで言われている。庁舎建設に伴い住民サービスの低下とならない様、どの様な対応を考えておられるか町長の所見を伺いたい。

町長答弁 60年に一度の大きな事業で、多額の費用もかかるという事は充分に承知をしている。確かに財政的に厳しくなることも承知しているが、やらなければならない事業だという事はご理解いただきたい。庁舎構造等を考慮し過疎債の充当等財源を確保していきたい。財政的な事は担当課長から答弁させる。

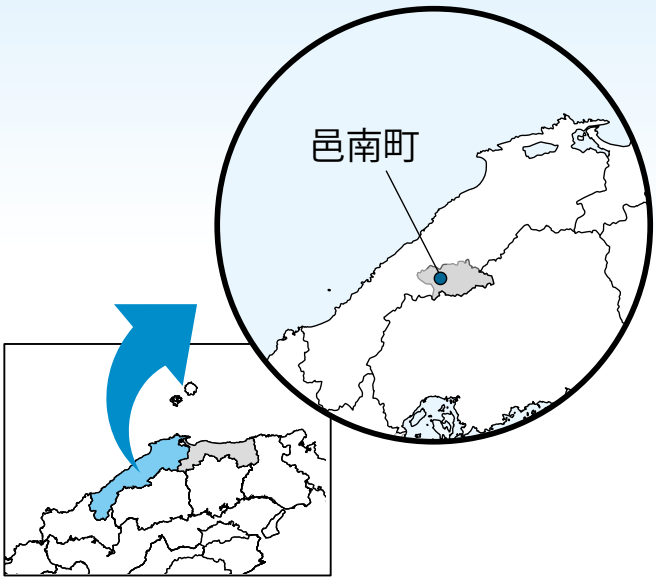
課長答弁 現在事業費は確定していないが、12億円を借り入れし、20年償還と想定した場合、償還金は年間7，700万円とのシミュレーションをしている。財政的に厳しくなることはご指摘の通りであるが、事業見直しなどを通じて対応していきたいと考えている。

質問 年間7，700万円と言う償還金をどこから捻出するか。それを事業見直しから出るという事は到底考えられない。これをいかに捻出するかと言う事自体行政の手腕にかかっており、住民サービスを削らなくても出来るという事を住民に十分に承知していただくための説明をして頂きたい。

町長答弁 庁舎に限らず全ての事業について示していきたい。今後説明会は、数字が固まってから行いたい。

基本設計が決定になった新庁舎建設予定地

告書



島根県邑智郡邑南町（おおちぐん　おおなんちょう）

邑南町の概要

邑南町は平成16年に旧石見町、旧瑞穂町、旧羽須美村の3町村が合併して誕生しました。

平成30年3月現在の総人口は10，891人であり、世帯数4，944戸で、高齢化率は43．5パーセントです。

説明事項

①ビレッジプライドについて。

邑南町が目指すもの、つまり地域の人々の誇りを作ることです。例えば都会に出たとき、島根が恥ずかしいとか郡が恥ずかしいと感じた人が、田舎の食材を食べてもらって、みんなに褒められたという体験にすごく感動したそうです。そこから地元に誇りを持つ、そのために農と食を振興しなければならない、それがビレッジプライドの基本です。

②攻めと守りの定住プロジェクトについて。

○攻めのA級グルメ食と農を切り口にした街づくりを推進する邑南町のキャッチフレーズとして、A級グルメの町を平成23年3月に商標登録しました。優れた食材や生産者への誇りも込めたネーミングで町全体をブランド化し、認知度やイメージの向上に繋げている。

○日本一の子育て村を目指します。邑南町では、子供への支援子育て家庭への支援に重点を置き、町民・地域・行政が一体となって「地域で子育て」をキーワードに事業を展開しています。子供たちを安心して生み育てられる環境の整備や子育ての経済的負担を軽減する具体策を「日本一の子育て村構想」と名付け、子育て支援ポイント付与制度などをもうけ、それらの実現により、住みよい町づくりを目指します。

③おーなんアグサポ隊について

○農業に興味があるにも拘らず、何から始めればよいにかわからない人や、農業を一から学びたい、農業を目指したいが生活に不安のある人たちに、就農に向けた技術や経営感覚を基礎から身につける研修制度を実施しています。2年目は実際に農家や農業法人で研修します。3年

邑南町役場前にて

地方行政調査報

総務経済常任委員会　調査日　平成30年6月18日～19日

目に就農に向けた具体的活動を行います。

④空き家バンクだけでない。移住者向け住宅確保について

○移住者に住みよい町づくりを進めています。移住定住に向けた相談や定住後のフォローを行う職員を配置し支援を行います。

1、空き家の利用を希望する方に情報を提供します。

2、U・Iターン者向けに住宅を建設する事業者に対して建設事業費を補助します。

3、結婚を考えている方のために出会いの場を創出します。

4、就労・起業支援として無料職業紹介所を設置して、町内外の雇用の場を紹介します。また意欲ある起業者に対して積極的に支援します。

A級グルメのレストラン「香夢里」

考察

邑南町のこの様な取り組みのきっかけは、国立社会保障・人口問題研究所の平成25年の人口予測値が、平成16年合併時の12,944人を大きく下回る人口となったことからです。しかしながら人口動態においては、平成22年を境に上向きに転じています。

このことは全町をあげて活性化対策を行った成果であると考えます。やはり町のトップリーダーによる、食と農による町づくりのコンセプトのあり方が大きく、このことによって多方面に渡る事業展開が可能となりました。

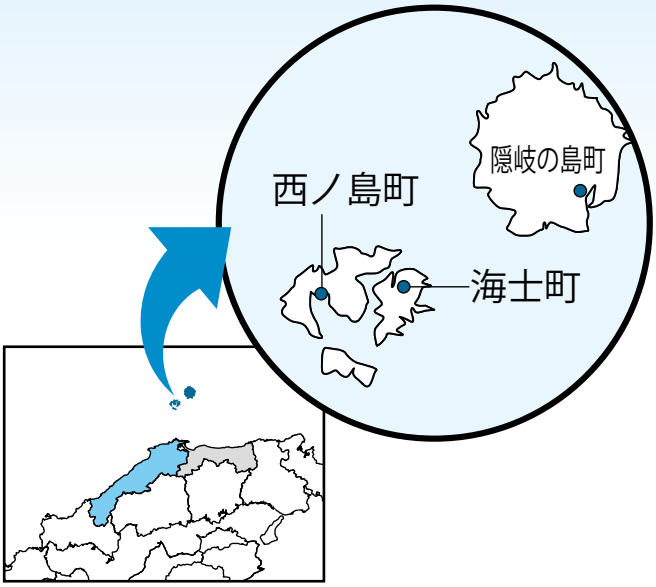
例えば、幼児のころから食育による地域の農産物に興味を持たせ、自ら調理し、体験により食材の重要性に気付き、地場産物に対する誇りの醸成を行い、将来の農業人の育成にもつながっています。

また、A級(永久)グルメの町として空き家を利用したレストランや既設の店舗を改修し、民間に提供したレストランエリアなど積極的に展開しています。そこで注目すべきは、調理人たちです。彼らは一部経験者もいますが、多くは町の観光協会が立ち上げた「食の学校」の修了生です。料理人の世界では、徒弟制度のような上下関係が往々にし、起業や開業の妨げになることもありましたが、この学校の修了生たちは、当初の目的である調理の道を迷いなく明るく歩を進めています。

また、町内に12ある保育所は、すべて民営化しています。職員としての再配置に工夫は必要ですが、それによる効果はプラス面が多い様です。中でも子育て支援ポイント付与制度や、子供の誕生を防災無線でお知らせしたり、集落で子供の誕生を祝うなど、町全体で子供の誕生を祝い、子育てするというムード作りは見習うべきものが多いように感じました。

本報告書が本町の事業推進に役立つことを願い、中でも農業の諸問題に一石を投じることになればと祈念して、この度の報告と致します。

告書



島根県海士（あま）町

町の概要

隠岐諸島の「海士町」は平成の大合併の際、単独町政を選択、人口は2,353人（平成27年国勢調査）である。離島振興法を活用した社会資本整備により住民の暮らしは改善されたがその一方で地方債は膨らみ平成20年度には「財政再建団体」に転落することが予測された。

山内町長の改革

平成14年町長に就任した「役場は住民総合サービス会社」を提唱、まず職員の意識改革から始めた。意識を変えるために年功序列を廃止して適材適所主義に組織を現場主義に再編した。

「守り」と「攻め」

「守り」の戦略としては町長自ら給与カットを宣言、続いて管理職、職員組合、議会も給与カットを申し出た。その結果、2億円の人件費カットを達成した。

「攻め」の戦略としては地域資源を活かし第一次産業の再生で島に産業を創り、島に雇用の場を増やし、外貨を獲得して、島を活性化することである。それには「現場第一主義」の体制づくりとして内部部局の職員を減らし、人員を産業振興と定住対策のセクションに充当、「攻め」の実行部隊として産業三課を設置。観光と定住対策を担う「交流促進課」、第一次産業の振興を図る「地産地商課」、新たな産業の創出を考える「産業創出課」を設置。

CASシステムという最新型の冷凍システムを全国に先駆けて導入した。長時間にわたって鮮度を保ち解凍後も取れたての味をそのまま食することが出来るツールとして高付加価値商品を生み出した。現在、岩ガキ、白いか等を販売し外貨を稼いでいる。その他、隠岐牛、海士の塩、干しナマコなど建設業の異業種参入や漁業者とIターンの若者とが新たに起業しブランド化を目指している。

町の支援策

①Iターンのための定住対策として、住宅228戸を整備。

②少子化対策として

結婚祝い金	5万円
出産祝い金	
1人目	10万円
2人目	20万円
3人目	50万円
4人目以上	100万円
出産準備金	10万円

「攻め」の実行部隊の産業三課

地方行政調査報

教育民生常任委員会　調査日　平成30年6月21日～22日

島根県西ノ島町

町の概要

西ノ島町は海士町と同じ隠岐諸島島前の一つ。人口2，883人、高齢化率44％である。島前は火山島で世界でも珍しい海底カルデラの外輪山が島を形成している。

大山隠岐国立公園國賀は隠岐島観光の代表的な景観として知られている。

町づくりの方向性

西ノ島町総合振興計画では未来の西ノ島を支える合言葉に「Keep3000」人の集う島へをキーワードに西ノ島町の魅力を活かし、伝え、支える取り組みを進め、一人でも多くの方に移住、残っていただけるよう町づくりを進めることにしている。そのため新たな特産品の開発や就業者確保対策、交流人口の拡大等を重点的に取り組んでいる。

移住定住対策

公営住宅200戸、交流施設を16戸、短期体験型モデルハウス2戸建設し、空き家を計画的に改修して利用している。公営住宅は満室状態でさらに20戸増やす予定である。

観光事業の取り組み

大山隠岐国立公園を筆頭に、美しい自然環境、後醍醐天皇ゆかりの黒木御所、焼火神社、などの歴史遺産、マリンスポーツなどが楽しめる。

その観光収入は8億～9億円に上る。

施策として外国人観光客も多くなっているので観光案内板を英語表記にしたり、トイレの改修、増設にも取り組んでいる。

考察

海士町の山内町長は町の現状と将来に危機感を持ち、町の財政再建と、人口減少、少子高齢化対策に相当な覚悟をもって行政に当たられたと推察できる。そしてまず「守り」の施策として自ら報酬をカットした。職員も意気に感じ報酬カットを申し出たという。その他様々な経費も削減し人員削減も敢行した。そして「攻め」の行政として産業振興に予算を回した。具体的には多くの産業施設が公設であること。運営は民間に任せる。そして移住定住の受け皿として200戸を超える公営住宅等を建設した。それは西ノ島町も同様である。西ノ島町は観光事業振興策としてトイレの改修や増設、観光案内看板の英語表記や観光事業施設の改修等に補助金を支出し受け入れ態勢を整えた。いずれの町もIターンを多数、町の職員として雇い入れていることは驚きであった。

島根県立隠岐島前高校の魅力化改革には知夫村も含め3町村で取り組んだことも成果につながったと云えよう。

「江府町3000人の楽しい町」づくりにおいても大変参考になった。キーワードは**「守り」と「攻め」**である。

西ノ島町役場前にて

私のひと言

江尾　淀瀬 真弓

江府町での新しい生活について

今年4月に主人の転勤に伴い、江尾駐在所で生活することとなりました。

「江府町について感じた事を一言」との事で、私が感じた事をお話ししたいと思います。

私の生まれ育ったところは、日本海に面した大山の北壁が見える名和というところになります。子供の頃から見慣れている大山の荒々しい北壁の風景が好きでしたが、主人と結婚して、度々ここ江府町をドライブしているうちに、御机や鍵掛峠から見る紅葉の美しい大山も好きになりました。

そんな私が、のどかな山間の町、江府町で生活することとなり、感じた事は、何と言っても大山から湧き出る豊富な水が町に流れていて、玄関先に鯉などが飼われている光景が印象的でした。

次に、町民の皆さんの真面目で何事にも積極的に取り組む姿勢です。500年も前から続いている江尾十七夜の規模の大きさにもびっくりしました。ここで生活するまでは、専業主婦で出不精な私でしたが、皆さんに誘って頂きアイリス合唱団や江府町更正保護女性会に参加することとなり、少しずつですが知り合いも増えて、活動も楽しくなってきました。

また、近所の方や、主人が仕事でお世話になった方々から、採れたての新鮮な野菜などを頂いたり、親切にして頂き、今まで生活したどの地域よりも、町の人が「温かいなっ」と思いました。

まだまだ、慣れない土地での生活、不安もあり、色々とお伺いすることがあるかと思いますが、主人共々宜しくお願い致します。

農事組合法人宮市
松本 良史

移住しました

地域おこし協力隊として農事組合法人宮市で仕事を始めて2年目。

早いもので2度目の稲刈りに追われる日々です。

兵庫県尼崎市に生まれ育ち京都市で10年、ワーキングホリデーを利用し、カナダに1年間海外で働いたりしておりました。衣食住について昔から考えていて、日本の地方に強く興味を持つようになりました。

「衣」京都では松竹京都撮影所で時代劇の着付けなどをし、日本人の民族衣装である着物について深く考える日々を過ごしました。プライベートでも毎日のように着物を着て過ごし仕事では時代考証、着物漬けの生活。とても充実したものでした。

時代劇の減少など転機が訪れ、「食」の道に転身。飲食業には京都やカナダで通算6年間身を置くことになりました。着付けもそうですが、飲食もサービス業。お客さんの顔が見える仕事です。着付けのときは俳優・女優、飲食の時は店に来てくれた方々、客層は違えど仕事をして感謝される喜びは他に代え難いものがあります。

そして今は「農」の道へ。食を深く考えていると、やはり食材そのものへの想いが強くなり一念発起。江府町に親戚はいませんが、今は宮市集落の皆さまをはじめ他地域の方もとても親切にしてくれます。移住して良かったと素直に感じております。法人宮市は23年続く農業法人、この担い手となるべく長岡理事長や理事の方々、関係者の皆さまにご指導いただきながら勉強中でございます。

江府町の美味しいお米を各地へ届けるべく、生産から販売まで頑張ります！皆様今後ともよろしくお願いします。

あとがき

季節外れの台風が猛威を振るう等、猛暑・台風・地震と自然災害の怖さを知らされました。犠牲になられた方のご冥福と、被害に遭われた方の復興をお祈りします。行政は勿論、議会もこのような時に、いかに対応するのか真価が問われると肝に銘じています。

先日、長岡議員が交通事故に遭われ意識不明の重体と報道されました。現在、順調に回復しておられます。一刻も早く元気になり一緒に活動することを願います。

改めて皆様のご多幸ご健勝をお祈り致します。

上原二郎

広報公聴常任委員会

委員長　上原　二郎
副委員長　三輪　英男
委　員　三好　晋也
川端登志一
森田　哲也